

## 旅行者のハートを掴め!! ～パリ国際観光博覧会について～

パリ事務所

2012 年 3 月 15 日（木）から 18 日（日）までの間、フランスで最大規模の観光博覧会であるパリ国際観光博覧会（通称「Le Monde・Paris（ル・モンド・ア・パリ）」）が、パリ市内のポルト・ド・ヴェルサイユ（Porte de Versailles）見本市会場で開催されました。クリアパリ事務所では、多数の地方自治体の委託を受けて、ジャパンパビリオン内にクリアパリ事務所として出展いたしました。今回はその様子と特にフランス語版パンフレットを作成する際に参考になると思われる点について報告いたします。

### ■パリ国際観光博覧会の概要

パリ国際観光博覧会は、毎年 3 月に、フランス国内外の観光業者が参加してパリ市内の見本市会場において一堂に集めて開催されます。この博覧会はいわば見本市として、業界関係者や多数の一般の方々（特に旅行を予定している人）が訪れており、その数は合わせて 10 万人以上が見込まれると言われております（2012 年も来場者が 10 万人以上になったとの報道発表がありました）。各国の政府観光局のみならず、旅行業者も多数の展示をしており、訪問者は旅行業者が提案する新しい旅先を知ったり、あるいは世界各地の文化や味に触れたりする絶好の機会となります。国内外から 500 社程度、具体的には政府観光局や地方自治体、企業（ツアー業者、旅行代理店、クルーズ・小旅行を企画する会社、リゾートホテル、航空会社、交通関係会社など）が 4 日間にわたり出展します。ヴァカンスを楽しみにしているフランス人にとっては、複数の旅行先候補で迷っていて情報収集をしたいといった目的のために、パリ国際観光博覧会で多くのアドバイスを得ることができます。



パリ国際観光博覧会の様子

### ■クリアパリ事務所としての出展目的

パリ国際観光博覧会については、毎年、日本政府観光局（JNTO）が中心となってジャパンパビリオンを設置し、その中で、地方自治体や企業（ホテル、交通関係会社など）もブースを設け、出展を行っています。クリアパリ事務所としては、日本政府観光局や地方自治体の独自出展と連携しつつ、東日本大震災等の発生に伴い著しく減少し、その後回復

傾向にある訪日観光客の一段の誘致促進を目的として出展を行いました<sup>1</sup>。併せて、東日本大震災の発生から1年が経過する時点をとらえ、関係自治体の協力を得て復興状況に関する情報を発信することにしました。

クレアパリ事務所ブースでは、特に、フランス語版パンフレットを作成された地方自治体のご了解を得て、パンフレットを配布いたしました。さらに、被災県としては岩手県のご協力をいただき、復興状況に関する情報を発信するとともに、世界遺産登録となった平泉の PR を行いました。また被災地やそれら含む東北についての安全情報や資料提供依頼が各ブースに来た場合には、クレアパリ事務所のブースに誘導を行っていただき、我々の方で対応することについてもお願いをしました。



クレアブースにおける説明の様子

## ■出展の際に注意を要した点

今回、4日間の出展の中で特に注意を要した点について説明します。第一に、パンフレットの配布数については、地方自治体によってバラつきが生じた点です。当初からその懸念はあったため、部数はどの地方自治体も100部に限らせて頂きました。ただ、地方自治体の中には、グッズをセットで配ってほしいというお願いや、あるいは地図をセットで配ってほしいというお願いもあったため、そのような地方自治体のパンフレットについては売れ行きが早く、初日だけで配布が終わらないように、さらに一日当たりのブースへの展示部数を減らすなど調整いたしました。

第二に、フランス人の中には、日本は危険な国で数年は渡航すべきでないという考えを持たれている方もおり、そのような方に、安全情報だけを強調して申し上げると、ますます議論を過熱させてしまう結果になるということです。我々としては、誤解を招くような発言に気をつけるとともに、日本政府が公表している情報の URL を提示し、そちらを見てご理解いただくように努めました。中には日本政府が公表している情報について疑念を抱かれている方もおり、そういう方には国際機関やフランス政府が発表している情報についても提示することにしました。

## ■フランス語版パンフレットを作成する際に考慮が望まれる点

今回、配布したフランス語版パンフレットにつきましては、概ね、好評でした。まず写真が多く、日本らしいイメージが強調されていること、また説明も詳しく掲載されていることなど、パンフレットを喜んで取っていくフランス人が多かったように感じました。また、展示されているパンフレットはすべてほしいとおっしゃる方や、コレクションのよう

<sup>1</sup> 独自出展された地方自治体のために、できるだけそれぞれの地方自治体のブースに訪問者を誘導するようにしました。たとえば、日本の標高の高い山でハイキングをしたいと聞けば、岐阜県高山市の独自出展ブースに誘導するようにしました。

に自分の訪れたことがある自治体のパンフレットを集めている方もいました。有料の見本市のため、パンフレットに加えて、さらに資料取得や詳細な情報を求めてくる人も多くいました。

一方で、それぞれのパンフレットを説明する側としては、さらに工夫すれば、フランス人に PR できるものになると思う点がいくつかありました。以下に、4 日間を通して感じた点から特にパンフレットの作り方について記述したいと思います。

### 1 海外向けパンフレットは日本語のパンフレットの翻訳版にするのは好ましくない

パンフレットの中には日本語のパンフレットをフランス語に翻訳したと思われるものがありました。日本語のパンフレットを海外の方に説明するのであればそれでもいいのですが、観光 PR のために使うのであれば、その構成を同じにする必要はないと考えます。また、海外の人の地理感覚や歴史感覚は日本人のそれとは異なっていますので、日本語のパンフレットであれば、日本人を想定して作られたものであるので説明を省略しても差し支えない内容でも、海外の人が読むためには説明を要する部分も出てきます。したがって、日本語で作成されたパンフレットの翻訳版を作成しても、フランス人に限らず、海外の人は想定するほどには理解できていない心配があります。

### 2 表紙の写真や絵はできる限りよく知られた日本らしいものが効果的

フランス人に限らず、海外の人は、日本についてある程度の知識があるものの、その地域特有の建築物などを知っているわけではありません。むしろ、日本らしい写真や絵の方が海外の人の目を引くことが多いと思います。単純な例をあげると、その地域特有の歴史的建造物とその地域の桜の両方があるならば、桜にした方が目を引くでしょう。歴史的建造物の方を PR したいという思いがあるということは理解しますが、そのパンフレットをとる際の表紙としては、できる限り、日本らしいものの方が海外の人にとっては手に取りやすく、興味を引きやすい傾向にあります（少なくともフランス人は桜、城、お寺のパンフレットを好んで手に取る傾向にありました。）。ビジュアルに訴えることは日本以上に海外においては有効であり、その際に用いる写真や絵はできる限り、それを見て日本を感じさせるものの方がウケがよいと思います<sup>2</sup>。

### 3 地域へのアクセスは海外にも知られた都市と関連させて説明する方が分かりやすい

海外の人は日本の大都市については知っています。博覧会の場で訪問者に聞くと、東京、京都、大阪はもとより大都市は知っているという人が多くいました。しかし、世界遺産で有名な町や新幹線の駅名まで知っているわけではありません。そこで、自治体へのアクセスの説明は、いきなりそのアクセスの説明をするのではなく、日本の中でどのあたりに位

<sup>2</sup> 今回のクレアパリ事務所のブース横のパネルは桜と富士山をモチーフにしたデザインにしたが、これは富士山の世界遺産登録に向けた活動も積極的に PR することと同時に、フランス人の視覚に訴えかけることを意図していた。実際、一日に数人のフランス人が博覧会終了後にパネルが欲しいという依頼があった。

置するのか、あるいはどの都市に近いのか、空港からは直接行くことができるのか、電車で他の都市に行くにはどのくらいの距離なのかをまず書いた方がよいと思われます。たとえば、日本では、都市部まで電車で 2 時間という距離は遠いと思われるかもしれませんが、飛行機で 10 時間以上かけて日本を訪れるフランス人からすれば、その距離は決して遠くはなく、むしろ日帰りで行ける場所だと考える人が多いようです。電車で 2 時間という距離であれば、都市部の近くと考えて差し支えないと思われます。

#### 4 交通案内は高速道路のインターからの説明ではなく空港からの説明にした方が親切

海外の人の出発点は、ほとんどの場合、空港です。ゆえに空港を出発点として、電車とバスをどのように使うのかを説明しないと、目的地にたどり着くことができません。しかしながら、パンフレットの中には高速道路のインターからの説明を書いているものがありました。日本をよく知っている人ならわかるかもしれませんが、一般のフランス人にはなかなか説明を理解することはできません。また地図も簡略化されているものもありましたが、逆にイメージが湧きにくく、詳しく丁寧な地図が欲しいという声が多く寄せられました。もちろん、本当に行きたいと思う人であれば、地図を買うのですが、もし、簡略な地図と詳細な地図のどちらをパンフレットに載せるかで悩んでおられるようであれば、詳細な地図を載せることをお勧めします。

#### 5 海外の人の旅行スタイルにあわせた内容が望まれる

日本では 1 泊や 2 泊程度の旅行も多いですが、フランス人はどれだけ短くとも 1 週間、長い人であれば、数か月の滞在を考えている人もいました。ゆえに、その旅行スタイルにあった説明にした方がよいと思います。特に、都市部には長期滞在する人が多く、その都市部を拠点として周辺地域に行く人が多いようです。宿泊先の紹介をするパンフレットもありましたが、ホテルや旅館だけでなく、マンスリーのアパートのような、長期滞在向きの宿泊施設も紹介いただけると、より一層、フランス人の興味を引くと思われます。

#### 6 地域や自治体の説明は細かくするより簡潔で分かりやすいものの方がよい

位置の説明や交通案内については詳しく書いた方がよいとこれまで述べてきましたが、一方でその地域の歴史などの説明は必ずしも詳しくなくともよいと感じました。もちろん、関心のある方は熟読されると思いますが、パンフレットの性質上、地域の説明は簡潔に努めた方が海外の人には伝わりやすいと感じました。

#### 7 ホームページ (HP) との連動を図る方が詳細な情報提供を行う上で効果的

高齢者層はともかく、フランス人の多くはホームページ (HP) を見てじっくりと旅行先を検討する人が多いようです。また今回の博覧会は有料ゆえに更なる情報を取得しようとする人も多く、地域や自治体の URL を教えてほしいという人も多数いました。ゆえに、

HP の充実、少なくとも英語版での HP の充実は必要なことだと思われます。パンフレットを読んで、そこから必要な情報を入手できるように HP との連動を図ることが求められています。特に、交通案内や宿泊案内については、海外の人の多様なニーズにあわせて、充実が必要であると考えます。たとえば、その地域や自治体にアクセスするための電車やバスの路線図と時刻表を作成し、HP に載せるだけでも海外の人にとってはとてもわかりやすい情報として受け入れられます。電車の方はまだしも、特にバス路線の情報については手薄ではないかと感じました。

また、桜や紅葉の見頃のように、季節が限られているものがあります。その地域に桜はいつ頃、咲いているのか、それは HP を見ればわかるのか等、質問がありました。交通案内や宿泊案内に加えて、観光シーズンとなる時期や訪問のタイミングをお知らせすることも海外の人にとってはヴァカンスの計画を立てる上で重要なことです。

以上、7 点に分けて記載しましたが、これは特に海外においてまだまだ地名が知られておらず、今後、観光 PR を積極的に行いたいという地域や自治体の関係者のために、あくまで今後の参考となることを期待して記述しました。

## ■高まるアジア観光プロモーション

ヨーロッパ、特にフランスでの日本人気は大変高いように思いますが、他国も決して負けてはいません。特に、東アジアや東南アジアの国々はその国も観光プロモーションに大変力を入れています。フランス人にとっては中国も韓国も日本と同じように飛行機で 10 時間以上かけて訪れる国には違いありません。その貴重な機会をどの国にするかは簡単に決められるものではなく、まずは必要となる材料をそろえて検討します。ゆえに、情報は少しでも多く欲しいという人がほとんどです。フランス人のヴァカンス事情を察してか、滞在型旅行をプロモーションする国も多い模様です。



他のパビリオン（中国）

しかし、フランスにおける日本ブームの影響もあって、日本に対する人気は大変強く、今回の博覧会でもパンフレットは予定していた以上に多くのフランス人に配布することができました。また、マンガ、アニメなどのポップカルチャー、寿司などの日本食、そして禅や茶道など、伝統的な日本文化に対する憧れを持つ人も多く、フランスでの観光客誘致にはまだまだ可能性があるとの思いを新たにしました。

なお、フランスでの観光客誘致に向けた方策に関するクリアパリ事務所の記事がございますので、下記 URL もご参照ください。

<http://www.clairparis.org/ja/news/2010/168-2010-11-09-17-08-40.html>

(2010 年 11 月 09 日 フランス人観光客の誘致に向けて何が求められているのか)

クレアパリ事務所では、地方自治体の国際的活動が多様化している状況に対応し、フランスでの行政視察や各種調査等の支援とともに、観光分野や経済分野でも自治体の活動を支援できるよう取組みを行っています。フランスでの事業展開をお考えの際にはぜひお気軽に当事務所までご連絡ください。

(西村所長補佐 総務省派遣)

